

【1.体制】

消化器内科の常勤医師は2名、非常勤医師は2名。消化器内科外来は週5日であり、肝臓専門外来を熊本大学病院から派遣の非常勤医師が週1日担当した。また、内視鏡検査を非常勤医師が週1日担当した。

内視鏡検査実績 (件)

	2021年度	2022年度
上部消化管 (処置、検診を含む)	1,816	2,198
下部消化管 (処置を含む)	580	602
ERCP (処置を含む)	4	3
超音波内視鏡	0	0

内視鏡治療実績 (件)

	2021年度	2022年度
食道ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)	0	0
胃ポリペクトミー(EMRを含む)	4	8
大腸ポリペクトミー(EMRを含む)	111	146
胃ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)	3	7
大腸ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)	1	0
食道胃静脈瘤治療(EVL, EIS, APC)	0	1
内視鏡的止血術(上部)	11	7
内視鏡的止血術(下部)	0	3
異物除去	3	3
食道狭窄拡張術(ステント、バルーン)	1	4
胃・十二指腸拡張術(ステント、バルーン)	2	1
小腸・結腸狭窄部拡張術	1	0
PEG造設	1	2
PEG交換	6	6
内視鏡的胆道ステント留置術(ERBD, ENBD)	2	1
内視鏡的乳頭切開術	0	1
内視鏡的採石術	1	0

【2.取組内容と実績】

コロナ禍ではあるが、内視鏡室の感染対策を十分に行った。上下部内視鏡検査件数は前年度と比較して増加した。また、内視鏡治療件数では胃ポリペクトミー、胃ESD、食道胃静脈瘤治療、食道狭窄拡張術、大腸ポリペクトミー、内視鏡的止血術(下部)などの件数が増加した。

入院症例の高齢化に伴い、何らかの合併症を有する症例が増加した。原疾患は治癒しても合併症のために入院期間が長くなるケースが多かった。外科手術、内視鏡手術、化学療法可能な症例が減少し、緩和ケアを行う症例が増加した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い消化器系の症例数が減少した。しかし、消化管疾患においては食道胃静脈瘤、十二指腸乳頭部腫瘍、多発胃潰瘍、急性腸炎、大腸憩室炎などの症例が増加した。肝胆膵疾患においては転移性肝腫瘍、原発性胆汁性肝硬変、肝性脳症、胆嚢癌、急性胆嚢炎、閉塞性胆管炎、肝門部胆管癌などの症例が増加した。

主な消化器疾患入院症例数 (主病名のみで重複なし) (例)

	2021年度	2022年度
逆流性食道炎	0	0
腐食性食道炎	0	1
マロリー・ワイス症候群	0	0
食道・胃静脈瘤	0	1
食道異物、咽頭部異物	0	1
(早期)食道癌	4	1
進行食道癌(術後含む)	0	0
術後食道胃吻合部狭窄	0	0
食道胃接合部癌	0	2
胃毛細血管拡張症	2	0
胃ポリープ	4	4
早期胃癌(外科転科症例を含む)	4	2

進行胃癌(外科転科症例を含む)	5	2
幽門狭窄症	0	0
十二指腸ポリープ	0	1
十二指腸狭窄症	0	0
ダンピング症候群	0	0
十二指腸乳頭部腫瘍	0	1
(出血性)胃十二指腸潰瘍	8	1
多発胃潰瘍	0	1
急性胃腸炎	2	0
急性胃拡張	0	0
大腸ポリープ	35	23
空腸消化管間質腫瘍	0	0
回腸炎	0	0
大腸癌(腺腫内癌、外科転科症例を含む)	5	3
大腸憩室出血	3	1
急性腸炎	0	2
感染性腸炎(出血性腸炎を含む)	2	0
イレウス(サファイラスを含む)	6	2
虚血性大腸炎	11	9
潰瘍性大腸炎	0	0
大腸憩室炎	0	2
偽膜性腸炎	0	0
上腸間膜動脈症候群	0	0
S状結腸軸捻転	0	0
S状結腸穿孔	0	0
小腸炎	0	1
直腸カルチノイド	0	0
直腸神経内分泌腫瘍の再発	1	1
消化管出血(出血源不明)	9	5
消化管アミロイドーシス	0	1
急性虫垂炎	0	0
腹膜炎	0	1
腸間膜脂肪織炎	0	0
薬剤性下痢症	0	0
肝障害	2	1
急性肝炎	1	0
自己免疫性肝炎	0	0
転移性肝腫瘍	0	2
肝硬変(肝不全を含む)、腹水	3	1
原発性胆汁性肝硬変	0	1
肝性脳症	2	4
肝細胞癌	5	4
胆管細胞癌	0	0
肝膿瘍	1	0
胆石胆嚢炎(外科転科症例含む)	1	1
総胆管結石性胆管炎	4	1
胆石性膀胱炎	1	1
胆石疝痛	0	0
胆のう癌	0	1
急性胆のう炎	0	1
胆嚢摘出術後	0	0
急性胆管炎	4	0
閉塞性胆管炎	0	1
胆管癌	4	1
肝門部胆管癌	0	1
急性膀胱炎(慢性膀胱炎急性増悪を含む)	2	1
脾臓癌	2	1
食欲不振、栄養障害	3	5
高度貧血(大球性貧血を含む)	8	3
急性アルコール中毒	0	0
その他	144	100

【3.今後の課題】

COVID-19は2類感染症から5類感染症に変更された。罹患数は減少したが、消滅したわけではない。今後も感染症対策を十分に継続しながら、済生会熊本病院との連携を密にし、地域住民の方々に質の高い医療を提供する必要がある。